

第8回 苫小牧市中小企業振興審議会要旨

1 日 時 平成30年10月17日(水) 13:30～14:40

2 場 所 職員会館 304号室

3 出 席

(1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員

秋山委員、岩佐委員、川島委員、小山委員、坂本委員、多田委員
西川委員、平井委員、保田委員、吉川委員、渡辺委員

(2) 事務局(市)

桜田企業政策室長、
商 業 振 興 課：武田課長、由利主査、新田主査
工業・雇用振興課：能代主査、佐藤主事、今井主事

4 概 要

(1) 開会

苫小牧市中小企業振興審議会開会(委員15名中12名出席、苫小牧市中小企業審議会規則第4条第2項の規程による審議会開催の定足数を満たしている)

(2) 議事

①部会活動報告について

渡辺部会長より第5回創業促進部会について報告あり。事務局より新規創業セミナー及び融資制度について事業説明があったほか、北海道女性起業家ネットワークの活動について報告があったこと、また部会として「高齢者の創業支援」をどう実現させるのかを次回の申し送り事項にすべき、というような議論が交わされたとのこと。

川島副部会長より第5回人材育成・事業承継部会について報告あり。部会では振興計画のうちの事業計画や、市の事業における離職防止・改善事業、なでしこ就職応援事業、若者人材育成事業、採用力・魅力創造支援事業について議論を行ったとの報告。それぞれ事務局より行った事業経過報告に対し、各委員から制度の充実を図れるよう意見があった。その他、今後どのような形で第3期報告書をまとめていくか、課題を明らかにしていきたいということで部会は終了したとのこと。

岩佐部会長より第5回販路拡大・需要開拓部会について報告あり。部会では「振興計画別冊」「帯広市ものづくり補助金」「販路拡大セミナー」「部会の今後」の4点について議論を重ねたとのこと。具体的には、別冊はだいぶ完成に近づいてきたこと、また苫小牧でも中小企業を対象としたものづくり補助金を検討できないかということ、今後の部会でも引き続きこのことについて協議する方針を確認し、部会を終了したとのこと。

②10. 10販路拡大セミナーの結果報告について

事務局から、10月10日(水)に実施した販路拡大・商業活性化セミナーの開催結果について報告。本セミナーは、市・商工会議所・商店街振興組合連合会の三者が

行っている商業活性化セミナーと、中小企業振興計画に基づいて実施した販路拡大セミナーを合わせて実施し、効果的に実施できたこと、また本審議会委員も多数ご出席いただいた結果、セミナー参加者が61名であったことを報告。

③北海道胆振東部地震に係る情報交換について

事務局から、市・経済産業省・日本政策金融公庫・北海道信用保証協会で開催している支援等について報告等を行った。また、副会長から商工会議所で実施している支援(特別相談窓口の設置、資金繰り相談、国の小規模事業者持続化補助金に関すること)について報告があった。

▽会長

では各委員より今回の地震で被った経済的被害を、情報交換という形で一言お願いしたい。

▽委員

私達の業界では、設備・建屋等の一部破損があったことは聞いているが、それについてどのような支援を利用したかということは耳にしていない。

▽委員

観光・旅館経営について、電気が復旧しても観光客の戻りは鈍いという話は伺っている。

▽委員

厚真・むかわ・富川を含め3支店があるが、店舗の被害の他、疲弊した職員のケアに本部は気を使っていた。地元のお客様には職員が声かけをしながら情報収集し、地元の金融機関として出来る限り支援するという体制を取っている。今回の被害で、私どもも当日から対策本部を立ち上げ、水や発電機といったライフラインを維持するために動き回るなどしたが、やはり災害は他人事ではないと改めて実感した。

▽委員

私は電気屋なので、停電に対してはもっと厳しく対処しなければいけないと感じている。主な仕事は道路や建物等の電気のインフラ整備であるが、地震後数日は会社の復旧より社会インフラや一般住宅の復旧を優先させた。今回の地震は経験として残していきたいと思っている。

▽委員

私達の会で酒屋さんがおり、東日本大震災の経験を元にビン等に被害が出ないよう工夫していたが、今回の地震は想定を超えており大変であったという話を聞いている。

▽委員

当社において被害が大きい店舗は、一部で液状化被害の出た清田区里塚の隣である平岡地域、そして美しが丘。営業は可能な範囲での被害ではあったが、当社

の被害は数千万円に及んだ。また、市とは災害時の物資調達について連携協定を結んでいたが、今回は停電で倉庫のシステムがシャットダウンし、物流がストップしてしまった。お店の商品は一般客用のため供給することができず、力になれなかったことをお詫びしたい。

▽委員

私事になるが、東日本大震災の教訓を親戚から聞いてはいたものの、停電において車庫が電動シャッターであったため車が出せず動けなかったという反省点がある。地震の備えについては、別の会議でも勉強したいと考えている。

▽委員

今回の地震前に国の機関より計5回の職員向けセミナーを受託していたが、うち4回の日程は地震後であり、インフラが止まったことも関係し白紙となってしまった。今回の地震から、重要なインフラをどう優先的に復旧させるのか仕組みを考えてもらいたいと感じた。

▽委員

ビジネスホテルであれば、インバウンドや出張といった客が減って売上減は数百万円になるのではないか。また、サービス業は在庫等ストックができるものではないので、機会損失は取り戻せない。皆さんの被害に比べれば少ないかもしれないが、私の仕事も1日が中止となってしまったという状況である。

▽委員

商業者の方から色々話を聞いている。小売店では地震発生後、最大10日ほど来店者がいなかったという話を聞いており、商品においても被害件数はかなりの数になると聞いている。飲食店においては、やはり停電における食材の被害が大きく、業務停止の一手前までの影響があったとのこと。また、マッサージ店では前月比の売上が-60%という話も聞いている。震災から1か月経った今でも、ここ一週間客が来なかったという飲食店もあり、商業者は小規模・零細が多く運営や再建も大変だと思う。市内大型店舗も2週間程機能していなかったが、所属するパートさんなども自宅待機となりその間収入が入らない。今後その失われた消費を取り戻すことはできないことから、皆さん頭を悩ませているという状況である。

▽委員（欠席委員より預かった内容を事務局から公表）

経営している自動車整備工場では、地震前日の台風も重なり部品の取り寄せができなくなり、通常営業まで1週間程度かかった。知り合いの墓石店では地震の影響で補修作業が入っているが、墓じまいする方と半々であるとのこと。介護系に従事する方では、子連れで出勤したという話を聞いている。

▽会長

苫小牧駒沢大学の状況としては、幸い学生は夏季休暇中ということもあり被害はなかったが、避難所としての大学開放という点では、停電によりセキュリティ

一が機能せずすぐ中に入れなかったということがあった。停電に対する備えがなかった
たので、様々なリスクをこれから考慮していきたい。

④第3期審議会報告書作成に向けて

事務局から、資料3～5を元に第3期審議会報告書の作成にあたり、中小企業振興
計画において現在未達成である項目を第4期以降どう実現させていくか、各部会で協
議していただきたいことを説明。

▽会長

事務局から説明があったように、第3期審議会2年間の総括として報告書を作
成したいと考えている。第3期は中小企業振興計画を策定したという成果がある
ので、基本は本計画と現状を照らし合わせて、課題や改善点などを洗い出すとい
う形になるだろう。部会ではこの点を中心に各委員から積極的な提案をいただき
たい。

⑤その他

●事務局より下記について報告。

- ・ 苫小牧高専サテライト C-base を苫小牧経済センタービル2Fに開設
- ・ 中小企業振興計画の広報チラシの配布について
- ・ とまチョップポイント宝くじキャンペーンの実施について
- ・ 市民自治ワークショップ参加者の募集について

●事務局より部会会場・次回審議会について下記のとおり説明。

- ・ 創業促進部会：職員会館3階 304号室
- ・ 人材育成・事業承継部会：職員会館1階 101号室
- ・ 販路拡大・需要開拓部会：職員会館1階 102号室

【次回審議会】

平成31年1月中旬を予定

場所未定

(3) 閉会